

新連載

自然治癒力を救う菌食 BIOXG-310

さんしよく

〈バイオエクスジー〉

中国四千年の薬草学の風土から生まれた生体調節物質に多数の臨床報告

シイタケ大豆発酵液が汚れた 血液を改善！ 免疫力を強化！

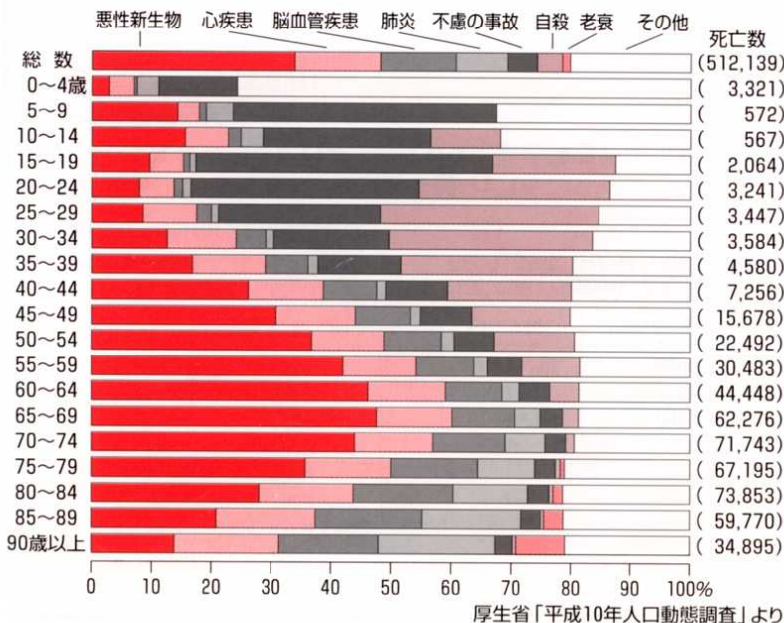
高齢化の影に「若死に」の存在！

21世紀の日本は、4人に1人が60歳以上の高齢者となる「超高齢化社会」を迎えるといわれています。しかし最近働き盛りの人がガンや脳卒中、心臓病で亡くなったという話を聞きませんか？厚生省の「平成10年人口動態調査」を見ると、高齢化を反映してか70歳以上の高齢者の死亡数が目立っているものの、40～50代の死亡率（人口10万対）も高くなっています。しかも、この年代の人は、ガンや脳卒中、心臓病などで命を落としているのです。最近増えている青・壮年の病死について、東京薬科大学名誉教授でオルタナティブ・メディスン（代替医療）とキノコ研究者として知られる志田信男先生は、自然治癒力の低下を指摘し

ています。「自然治癒力の低下は、環境の悪化と食生活の変化が原因です。環境は社会全体の問題ですが、食生活は個人の責任において正しく維持することが出来ます。栄養のバランスがとれた適量の食事、そして適度な睡眠と運動、精神的な安定が自然治癒力を高めます」と語る志田先生は、伝統的な日本の食事、とくにキノコ類や納豆などの菌類質の食べ物を食べる「菌食」を勧めています。「菌食は、腸内の善玉菌を増やすばかりではなく、免疫やホメオスタシス機能を高めます。ホメオスタシスはギリシャ語起源の言葉で、恒常性と訳します。生体の内部の環境や体液の質がたえず生物学的に正常なバランスを保つことをいいます。交感副腎系がその中心の働きを担っているとされています」（志田先生）

病気を治すのは、私たちの体に備わっている自然治癒力。医者も薬も、病気を治す手助けをしてもらえるだけです。自然治癒力を高めるには、適度な運動やストレス解消、楽しく生きがいのある生活も大切ですが、基本はやっぱり毎日の食生活。そして、今、食に関してもっともホットな話題を提供してくれるのが、キノコ類などの菌類を食べる菌食なのです…。

■男性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成10年）



漢方の英知とバイオが生んだ 菌食・BIOXG・310!

大学での講義の他、季刊誌『伝承と医学』の編集や講演、翻訳・執筆活動などと、多忙を極める志田先生。それでも元氣ハツラツとしているのは、やはり「菌食」がひと役かかっているとか。

「食事は主として胚芽米を中心に、野菜や海藻類、魚介類を取り入れた日本食。ただし、現在しごく健康なので、適宜パン、麺類のほか、肉食もしますし、外食の際は何でも食べています。健康食品、ドリンク剤も用いますが、菌食健康食品としては、体に有用な菌を3種類(シイタケ、コノキサルノコシカケ、ラクリス菌)や大豆、ガンマリノレン酸の相乗効果も期待できる『BIOXG(バイオ・エックスジー)・310』という健康食品を飲んでいきます」(志田先生)

『BIOXG・310』の主原料は、「シイタケ大豆発酵液」。このシイタケ大豆発酵液は、中国の北京栄養源研究所(中国政府公認の半官半民の研究所)が11年の歳月をかけて開発した食品です。

シイタケの菌糸を培養・発酵し、さらに大豆などで培養させてきたシイタケ大豆発酵液には、体を構成するアミノ酸や、現代人に不足しがちなカルシウムや亜鉛、ビタミン類が豊富に含まれています。

また、この他、自然治癒力が衰えがちな現代人の救世主ともいべき成

●シイタケ大豆発酵液の臨床例

高脂血症

～北京復興医院の臨床報告より

高脂血症患者40人(男/26人、女/14人、平均年齢40.6歳)に、毎日椎茸大豆発酵液の粉末を70gを飲んでもらい、その間は薬の服用を中止。平均25～30日に1回採血して、総コレステロール値(TC)、トリグリセリド(TG)、β-リポタンパク(β-L)を測定。

	総コレステロール	トリグリセリド	β-リポタンパク
症例数	40	36	37
服用1ヵ月後の平均降下率	24.8%	40.6%	25.6%
服用2ヵ月後の平均降下率	25.7%	58.0%	30.4%
50%以上の下降例	3	13	7
30～50%の下降例	11	13	5
15～30%の下降例	18	4	7
5～15%の下降例	6	2	7
無効症例	2	4	11
総有効率	95%	83.9%	70.3%

*有効率:服用後5%以上の降下をもって有効とした。

免疫(白血球増加)

～北京腫瘍研究所の臨床報告より

乳ガン手術後の患者2人に、シイタケ大豆発酵液を1日2回100ml飲んでもらい、その後の白血球数を調べた。

■表2・服用後の白血球数の変化

Aさん(53歳・女性)は、1日2回100ml、総量26瓶(1瓶500ml)を服用。

Bさん(39歳・女性)は、1日2回100ml、総量32瓶(1瓶500ml)を服用。

日付	白血球数(個/mm ³)
89年5/11	4900
5/15	4200
6/6	4800
6/17	4050
7/7	4900
7/29	3800
8/28	5500
9/11	6000

日付	白血球数(個/mm ³)
89年7/30	6400
9/7	7200
9/12	9400

分が存在しているのです。その成分とは、キノコ類に多く含まれ、免疫力を高める「多糖体」です。多糖体は、キノコの菌糸に多く含まれる食物繊維の一種です。漢方では、古くから靈芝やサルノコシカケなどのキノコを高貴薬として使われてきました。我々の先人たちは、その効能の大部分はキノコの菌糸、すなわち多糖体が鍵を握っていることを経験的に知り、利用してきたのです。

近年では、科学的分析が進み、ガン治療の現場で、キノコの多糖体は薬として活用されています。たとえば、シイタケからはレンチナン、カワラタケからはクレスチン、スエヒロタケからはシゾフィランという薬が作られ、ガン患者の免疫を高めるために、医療の現場で使われています。シイタケの菌糸体に含まれる有効成分をより高めるために長期間培養し、さらに良質なタンパク質を含む大豆の力によって活性化した「近未来型の菌食品」シイタケ大豆発酵液は、すでに中国で臨床試験が数多く行われ、その有効性が確認されている注目の免疫強化食品なのです。

北京医科大学での臨床試験では(感

冒治療の臨床)として治癒率75%の高成績をあげ、その所見には「従来の感冒剤より優れている」と記されています。また、山西省の人民病院による、「病毒性肝臓炎治療の臨床観察」には、症状の改善や肝機能の回復、各項目の抗原値の陰性好転などの効果が報告されています。

この他、免疫の強化一免疫機能の中心的な役割を果たす白血球の数の増加例、また、コレステロールによる血の汚れが気になる人にとって朗報ともいえるべき臨床例も報告されています(困み記事参照)。

**不飽和脂肪酸、乳酸菌、
コフキサルノコシカケで
“菌食”パワーアップ!**

臨床実験で、コレステロールでドロドロの血液をキレイにしてくれたり、免疫力を高めたり、実に様々な有効例が確認されているシイタケ大豆発酵液。

しかし、『BIOXG・310』に含まれているのはシイタケ大豆発酵液だけではありません。より自然治癒力を高めるために、ガンマーリノレン酸や乳酸菌（乳酸菌の一種であるラクリス菌）、さらにはコフキサルノコシカケが含まれているのです。

「コフキサルノコシカケは抗ガン活性があることが報告されていますが、『BIOXG・310』に含まれているコフキサルノコシカケは体に吸収されやすいように処理がされているようです。



志田先生

一つひとつの働きが一緒になって、相乗効果を発揮してくれるのでしよう
(志田先生)

ちなみに、ガンマーリノレン酸は、天然の植物油にごくわずかに含まれる脂肪酸です。皆さんも、魚油に含まれる不飽和脂肪酸のDHAが体の細胞や脳の発達、心臓の健康に有効であることをご存じのことでしょう。ガンマーリノレン酸は不飽和脂肪酸の1種で、コレステロール但の改善や、アレルギー性皮膚炎の予防・改善の働きがある

ことが報告されています。

また、ラクリス菌は、胃酸や胆汁によって死滅することがなく、また腸内で増殖しやすい乳酸菌で、腸内の善玉菌が過剰しやすい環境を整える働きがあることが分かっています。

そして、コフキサルノコシカケは、志田先生がおっしゃった通り、古くからガン患者に使われてきたキノコです。現在、一般的には、白生する天然ものが採取されています。

『BIOXG・310』で使われているコフキサルノコシカケは、発生から50年以上経過した極上の天然もの。そんな貴重なコフキサルノコシカケは、最大の薬効成分を得るために編み出された加熱温度と時間の相互関係に基づき煎じられ、また、その工程では薬効成分を分散させない発散防止特殊釜で32時間煎じるという配慮がなされています。

**「1か月食べ続けたら肝臓
ガンの増殖が止まった!」**

『BIOXG・310』は、主に免疫の衰えたガン患者や生活習慣病で悩んでいる人々に支持されています。

北海道在住の三浦昭男さん（51歳・仮名）は、大腸ガンが肝臓と肺に転移し、平成8年の7月から『BIOXG・310』を飲み始めたそうです。「1日に12〜15粒食べていました。病院からもう抗ガン剤も飲んでいましたが、8月には肝臓ガンの増殖が止まっていることが判明し、8月19日には

退院しました。平成10年3月の検査では、肝臓や肺のガンが縮小していることが分かりました。肝臓のほうのガンはほんの数ミリ程度とのことでした。

その後も毎月CTをとったりしていましたが、異常はなく、体調は良好。医師は肺のガンについて『残骸ではないか』と言っていました。今も食べ続けていますが、本当に体調がよく毎週2回ミニバレーをやっています（三浦さん）

ガンに限らず、どんな病気も、かかってからでは、肉体的・精神的、そして経済的な負担も大きくなるばかり。かかってから「シマッタ!」と思うよりも、生命力あふれる天然の植物の力を体の中に取り入れて、自然治癒力を高めておきたいものです。

そんな私たちの願いをかなえてくれるのが、菌食であり、その進化した形が『BIOXG・310』というわけ。2回目以降も、さらに『BIOXG・310』の検証は続きます。どうぞご期待ください。



■自然治癒力が衰えがちな現代人に嬉しい栄養補助食品『BIOXG・310』
(55mg×100個入り、20,000円)